

令和3年度 決算審査

決算特別委員会で審査

令和4年第3回定例会は9月1日に開会し、27日までの27日間の日程で開かれました。深谷市議会では、決算認定関連議案を決算特別委員会へ付託し、委員会で集中審査を行っています。

令和3年度決算については、小嶋議長、議員選出監査委員の富田議員を除く22名の議員で構成される決算特別委員会で審査しました。

財政状況は良好

－主なポイント－

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応として、その時々の状況に応じ迅速な対策に努めるとともに、大河ドラマ館をはじめとした渋沢栄一翁関連の取組や花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトの推進など、本市の持続的な発展のための取組を着実に実施し、併せて公立幼稚園のサービス向上や自校式給食による食育の推進、各学校への支援員の拡充など将来を担う子ども達のための取組を推進しました。

事業の財源としては、国、県の補助金等や合併特例債等の有利な地方債を活用し、市債残高については、合併特例債等を活用した大規模建設事業の進捗に伴い増加しましたが、令和元年度の新市建設計画の変更時に示した残高の範囲内で推移しており、健全化判断比率である将来負担比率についても良好な状況を維持しています。

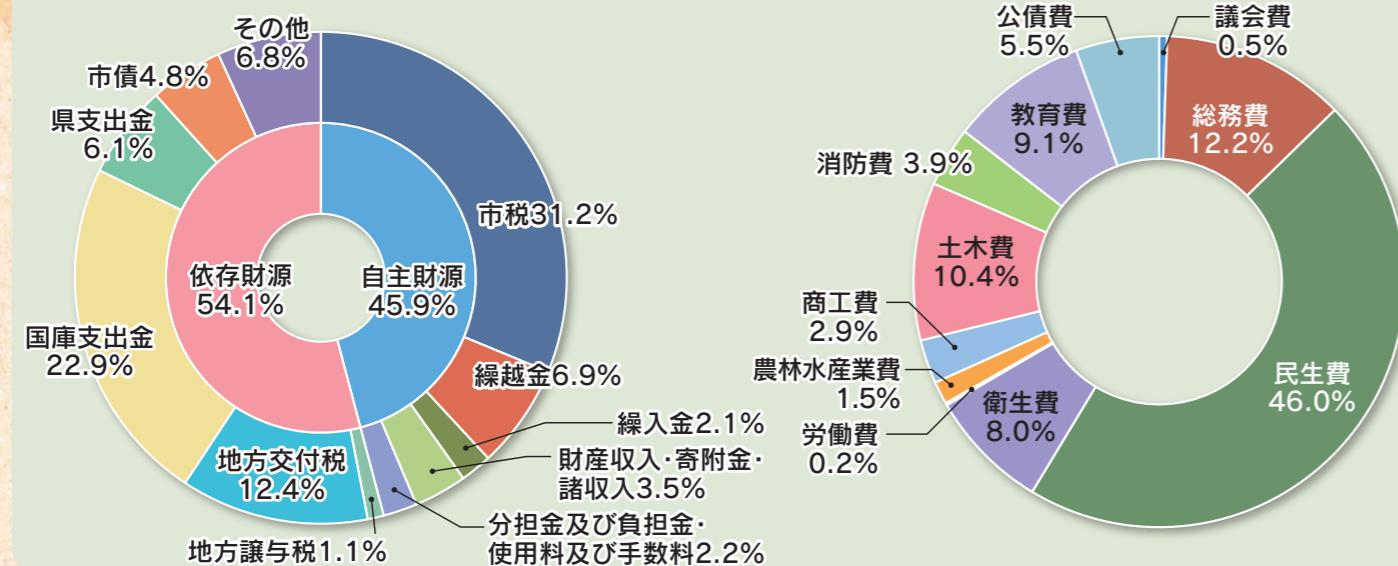
財政指標

－主なポイント－

財政力指数 0.747 経常収支比率 82.5%
実質公債費比率 -1.7% 将来負担比率は生じていない
※数値については、4・5ページに説明があります



令和3年度一般会計歳入決算内訳



コロナ禍における暮らしの支援に

Q 令和3年度一般会計の決算で、財政調整基金に約10億円積み増しているが、市民のために活用すべきではないか。

A 財政調整基金の残高は、令和3年度の決算で約133億円であり、約10億円の増となった。地方創生臨時交付金も活用しながら生活支援、事業者支援、子育て支援、教育支援、感染防止対策など幅広い分野に対策を講じてきた。令和4年度においても第2子保育料の無償化、高齢者の住宅改修補助制度の拡充、原油高や物価高にも対応し市民や事業者の支援、6月の降ひょう被害支援にも財政調整基金を活用した。

前年度比で総務費減、民生費増はなぜか

Q 前年度比で総務費が大幅に減少し、民生費が大幅増加しているがなぜか。

歲入內訖

※網掛けは自主財源

区分	決算額
市税	19,245,724
地方譲与税	651,164
利子割交付金	11,539
配当割交付金	113,014
株式等譲渡所得割交付金	134,053
法人事業税交付金	226,720
地方消費税交付金	3,224,436
ゴルフ場利用税交付金	42,156

区分	決算額
環境性能割交付金	86,90
地方特例交付金	351,8
地方交付税	7,620,36
交通安全対策特別交付金	22,42
分担金及び負担金	1,011,38
使用料及び手数料	363,33
国庫支出金	14,097,25
県支出金	3,769,59

区分	決算額
財産収入	362,8
寄附金	421,0
繰入金	1,275,5
繰越金	4,225,5
諸収入	1,361,2
市債	2,987,2
合計	61,605,2

歲出內訛

(単位:千円)

区分	決算額	区分	決算額
議会費	286,981	商工費	1,574,537
総務費	6,632,091	土木費	5,661,183
民生費	25,059,089	消防費	2,148,892
衛生費	4,336,348	教育費	4,937,186
労働費	88,161	公債費	2,988,134
農林水産業費	816,032	合計	54,528,635

9月定例会 (9/1~9/27…27日間)

[本会議]
1日 議案説明 6日 議案質疑
20日・21日・22日 一般質問
27日 採決
[委員会]
6日 第2次深谷市総合計画後期基
本計画策定特別委員会
8日 産業建設委員会
9日 総務委員会
12日 福祉文教委員会
13日・14日 決算特別委員会